

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
高岡地区	高岡市、氷見市、小矢部市	平成24年4月1日 ～平成29年3月31日	平成24年度～平成28年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指標	現状 (割合※1) (平成22年度)	目標 (割合※1) (平成29年度) A	実績 (割合※1) (平成29年度) B	実績/ 目標※2	
排出量	事業系 総排出量	30,276t	30,588t *1 (1.0%) [25,832t]*2 [-14.7%]	34,582t *1 (14.2%) [29,768t]*2 [-1.7%]	1,420.0% 11.6%
	1事業所当たりの排出量	2.1t	2.0t (-4.8%)	1.9t (-9.5%)	197.9%
	家庭系 総排出量	50,918t	45,402t (-10.8%)	48,511t (-4.7%)	43.5%
	1人当たりの排出量	164kg/人	138kg/人 (-15.9%)	163kg/人 (-0.6%)	3.8%
合計 事業系家庭系総排出量合計	81,194t	75,990t (-6.4%)	83,093t (2.3%)	-35.9%	
再生利用量	直接資源化量	4,831t (5.9%)	12,937t (17.0%)	10,255t (12.3%)	57.7%
	総資源化量	15,972t (18.0%)	23,940t (28.7%)	16,930t (19.1%)	10.3%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	24,461MWh *3 (13,737MWh) *4	25,417MWh (12,669MWh) *4	103.9% (92.2%)
減量化量	中間処理による減量化量	59,944t (73.8%)	50,695t (66.7%)	60,477t (72.8%)	109.1%
最終処分量	埋立最終処分量	12,884t (15.9%)	8,686t (11.4%)	10,218t (12.3%)	80.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

- *1 事業系総排出量に、民間リサイクル業者による事業系資源化量を含んだ値として示している。
平成22年度数量には民間リサイクル業者による事業系資源化量を含んでいないため、目標年度の数量が大きくなっている。
- *2 事業系総排出量に、民間リサイクル業者による事業系資源化量を含まない値 (=公共施設搬入分のみカウントした値) で、
目標年度では、平成22年度数量に対して14.7%削減を目標としている。
- *3 発電量(MWh/年) = 年間焼却量(57,024t/年) × 基準ごみ発熱量(2,170kcal/kg) × 発電効率(17%) × エネルギー換算値(1/860Wh/cal)
- *4 エネルギー回収推進施設(平成26年10月稼働予定)の稼働初年度6ヶ月間の値

(生活排水処理) 高岡市

指標		現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績/ 目標※3
総人口		179,663人	172,494人	172,542人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	142,432人	147,464人	149,342人	137.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	79.3%	85.5%	86.6%	117.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	3,931人	3,801人	3,546人	296.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.2%	2.2%	2.1%	— %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	4,450人	5,039人	3,939人	-86.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.5%	2.9%	2.3%	-50.0%
コミュニティ・プラント	汚水衛生処理人口	1,233人	0人	0人	100.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.7%	0.0%	0.0%	100.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	27,617人	16,190人	15,715人	104.2%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理) 氷見市

指標		現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績/ 目標※3
総人口		53,232人	50,104人	48,163人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	30,702人	28,770人	26,749人	204.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	57.7%	57.4%	55.5%	733.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	11,923人	10,238人	9,511人	143.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	22.4%	20.4%	19.7%	135.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	4,311人	6,229人	8,177人	201.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	8.1%	12.4%	17.0%	207.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	6,296人	4,867人	3,726人	179.8%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理) 小矢部市

指標		現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績/ 目標※3
総人口		32,574人	30,785人	30,328人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	13,466人	13,018人	19,109人	-1259.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	41.3%	42.3%	63.0%	2170.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	2,896人	2,754人	2,632人	185.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	8.9%	8.9%	8.7%	— %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	2,754人	2,788人	3,633人	2585.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	8.5%	9.1%	12.0%	583.3%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	13,458人	12,225人	4,954人	689.7%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理) 高岡地域全体

指標		現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績/ 目標※3
総人口		265,469人	253,383人	251,033人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	186,600人	189,252人	195,200人	324.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	70.3%	74.7%	77.8%	170.5%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	18,750人	16,793人	15,689人	156.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.1%	6.6%	6.2%	180.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	11,515人	14,056人	15,749人	166.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	4.3%	5.6%	6.3%	153.8%
コミュニティ・プラント	汚水衛生処理人口	1,233人	0人	0人	100.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	47,371人	33,282人	24,395人	163.1%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	構成市	ごみの有料化は、排出量に応じた負担の公平化や住民に意識改革を進めるため、ごみの減量化に有効であり、今後、適宜見直し。	H24～H28	<p>【高岡地区広域圏全体】 平成 26 年 10 月 家庭系燃やせるごみ指定袋 3 市共通化 ・大(45ℓ)：300 円(10 枚入) ・中(20ℓ)：200 円(10 枚入) ・小(10ℓ)：100 円(10 枚入)</p> <p>【高岡市】 平成 26 年 4 月 ごみ持込処理手数料の改訂 (消費増税に伴うもの) 平成 26 年 10 月 ごみ持込処理手数料の改訂</p> <p>【氷見市】 当初、市民には有料化に抵抗があったが、結果、負担額を少しでも減らそうとして、ごみの減量化に有効に働いた。しかし、現状ではその効果は薄れてきている。</p> <p>【小矢部市】 処理原価に見合った受益者負担を求めるため、処理手数料の見直しを検討した。</p>
	12	生ごみ堆肥化	構成市	ごみ自家処理機材購入補助金交付制度を継続し、家庭での生ごみ堆肥化推進。また、学校給食センター等での残渣物の堆肥化を推進。	H24～H28	<p>【高岡市】 ごみ自家処理機材購入費補助金交付制度 <補助実績> ・堆肥化容器 H24 H25 H26 H27 H28 95 件 69 件 58 件 72 件 64 件 ・電気生ごみ処理機 H24 H25 H26 H27 H28 20 件 29 件 30 件 16 件 13 件</p>

						<p>【氷見市】 市街地では敷地の関係もあり、生ごみ堆肥化は限定的であるが、周辺部では進んでいる。</p> <p>ごみ自家処理機材購入費補助金交付制度 ＜補助実績＞ ・堆肥化容器 H24 H25 H26 H27 H28 23件 25件 14件 15件 12件 ・電気生ごみ処理機 H24 H25 H26 H27 H28 8件 10件 11件 7件 6件</p> <p>【小矢部市】 ごみ自家処理機材購入補助金交付制度を継続し、家庭での生ごみ堆肥化を推進した。</p> <p>＜補助実績＞ ・堆肥化容器 H24 H25 H26 H27 H28 6基 4基 4基 3基 1基 ・電気生ごみ処理機 H24 H25 H26 H27 H28 7基 13基 10基 6基 8基</p>
13	資源の集団回収	構成市	集団回収事業奨励金交付制度を継続し、資源物の回収を推進。	H24～H28	<p>【高岡市】 回収実績(t) 交付額(千円) 団体数 H24 5,505 22,019 390 H25 5,325 21,300 385 H26 4,986 19,943 381 H27 4,471 18,962 376 H28 4,468 17,872 374</p> <p>【氷見市】 家庭にある資源の有効活用と、町内や児童会、地域組織等の運営費に寄与することから、資源物の回収は継続して実施されている。</p>	

						<p>回収実績(t) 交付額(千円) 団体数</p> <p>H24 1,199 3,596 168</p> <p>H25 1,298 3,894 175</p> <p>H26 1,219 3,656 183</p> <p>H27 1,200 3,599 174</p> <p>H28 1,123 3,368 170</p> <p>【小矢部市】 集団回収事業奨励金交付制度を継続し、資源物の回収を推進した。</p> <p>回収実績(t) 交付額(千円) 団体数</p> <p>H24 499 1,482 70</p> <p>H25 480 1,425 75</p> <p>H26 422 1,250 76</p> <p>H27 394 1,166 73</p> <p>H28 367 1,083 73</p>
14	マイバッグ運動の促進	構成市	マイバッグ運動について、広報紙やポスター、インターネット等を活用し、呼びかける。また、商店等にも協力を呼びかける。	H24～H28	<p>【高岡市】 高岡市一般廃棄物処理基本計画改定版(平成24年2月)において、マイバッグ運動の実施について記載。</p> <p>【氷見市】 市内の一定規模以上の店舗では、積極的にマイバッグ運動が行われており、市民意識もマイバッグがあたりまえになっている。</p> <p>【小矢部市】 マイバッグ運動について、環境保健衛生協議会と連携し、普及啓発を行った。</p>	
15	ごみ減量化・資源化の普及啓発活動	構成市	住民の関心を高めるために、イベント等の開催や自治会等への出前講座等に努める。	H24～H28	<p>【高岡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会等からの依頼に応じ、ごみの出し方・リサイクルに関する出前講座を実施 とやま環境フェアへの出展(偶数年(高岡で開催の年)のみ) <p>【氷見市】 自治会等への出前講座等継続してPRを行っているが、近年の講座開</p>	

						<p>催の要請は頭打ちとなってきている。</p> <p>【小矢部市】 ごみの発生抑制や減量化・資源化について、市の広報誌やホームページ等を活用し、情報提供を行った。また、住民の関心を高めるために、自治会等への出前講座等で啓発に努めた。</p>
16	小型家電リサイクルの実施	構成市	市民から排出される使用済小型家電等を回収し、小型家電等に含まれているレアメタルのリサイクルを実施する。	H24～H28	<p>【高岡市】 高岡・福岡ストックヤードにおいて、小型家電類の持ち込みの受け入れを実施。</p> <p>【氷見市】 家電販売店等とともに小型家電リサイクルを進めており、市民の意識も高い。</p> <p>【小矢部市】 市民から排出される使用済小型家電等を回収し、小型家電等に含まれているレアメタルのリサイクルを実施した。 ・回収実績 H24:27 t、H25:29 t、H26:41 t、H27:58 t、H28:50 t</p>	
17	オフィスリサイクル・商店街リサイクルの促進	構成市	オフィスや商店街から排出される資源物を回収するために、オフィス事業者や商店主の自主的なリサイクル活動を支援。	H24～H28	<p>【氷見市】 一定規模以上の事業者では、オフィスリサイクル・商店街リサイクルの意識が高く、リサイクルが進んでいる。</p> <p>【小矢部市】 オフィス事業者や商店主に対し、廃棄物の減量化・資源化に努めるよう許可業者を通じて指導を行った。</p>	

	18	事業所ごみ排出管理・指導の徹底	構成市	事業所ごみの適正な処理について情報提供を行い、廃棄物の減容化・資源化に努めるよう指導する。	H24～H28	<p>【高岡市】 条例に基づき、毎年、事業系一般廃棄物減量化・資源化等計画書及び廃棄物管理責任者選任（変更）届の提出を義務付けている。 対象事業所…建築面積 3,000 m²以上の事業用建築物、市長が特に認めたもの（総排出量年 50 トン以上の事業所）</p> <p>【氷見市】 零細・個人の事業者では、家庭ごみとの境界があいまいなことから、中には意識が希薄なケースが見受けられる。今後一層の排出管理・指導を徹底する必要がある。</p> <p>【小矢部市】 事業所ごみの適正な処理について情報提供を行い、廃棄物の減量化・資源化に努めるよう指導を行った。</p>
	19	搬入規制の強化と処理手数料の見直し	構成市	各施設で受け入れる事業系ごみの適正搬入の指導と、処理原価に見合った受益者負担。	H24～H28	<p>【高岡市】 平成 26 年 10 月 事業系ごみ持込処理手数料の改訂 平成 28 年 6 月 持込可能な事業系ごみの品目を改正（量など特別な処理を要するものを除外）</p> <p>【氷見市】 常時機会を設け、事業系ごみの適正搬入の指導を実施している。</p> <p>【小矢部市】 小矢部市環境センター及び小矢部市不燃物処理場で事業系ごみを適正に受け入れるため、事業者に対して適宜指導を行った。また、処理原価に見合った受益者負担を求めため、処理手数料の見直しを検討した。</p>

	20	廃プラスチック類のリサイクルの推進	小矢部市	民間処理施設での廃プラスチック類のリサイクルを推進する。	H28	埋立処分していた廃プラスチック類について、新たにストックヤードを整備して、民間処理施設でのリサイクル（RPF化）を推進した。 ・資源化実績 48 t
処理体制の構築、変更に関するもの	21	収集・運搬の効率化	高岡市 氷見市	収集・運搬の効率化、収集サービスの向上を図るとともに、新たな焼却施設では、効率的な熱回収を行う。	H24～H28	【高岡市】 収集・運搬の効率化のため、民間委託を順次進めてきている。 平成 24 年度委託率 57% →平成 28 年度委託率 65% 【氷見市】 市民の協力を得ながら、収集・運搬の効率化を図っている。
	22	木質系廃棄物等の資源化	高岡市 氷見市	木質系廃棄物等のリサイクルを促進するため、民間の処理施設の活用。	H24～H28	【氷見市】 氷見市木材リサイクル事業協同組合を設け、木質系廃棄物等の資源化を図っている。
	23	廃プラスチック類の資源化	小矢部市	廃プラスチック類のリサイクルを推進するため、民間の処理施設の活用。	H28	埋立処分していた廃プラスチック類について、新たにストックヤードを整備して、民間処理施設でのリサイクル（RPF化）を推進した。
処理施設の整備に関するもの	1	高効率ごみ発電施設	事務組合	施設の集約化と熱回収の効率化。	H23～H26	平成 26 年 10 月本格稼働開始。 高岡広域エコ・クリーンセンター 氷見市上田子字笹谷内 50 番地 ・焼却能力：255t/24h (85t/24h×3 炉) ・発電能力：4,600kW

	2-1	浄化槽設置整備	高岡市	個人設置型の合併浄化槽推進。	H24～H28	<p>浄化槽整備状況</p> <p>H24：22基（89人） H25：5基（18人） H26：7基（32人） H27：11基（44人） H28：8基（36人）</p>
	2-2	浄化槽設置整備	氷見市	個人設置型の合併浄化槽推進。	H24～H28	<p>年を経るごとに、浄化槽設置整備が推進されている。</p> <p>浄化槽整備状況</p> <p>H24：69基（222人） H25：96基（396人） H26：75基（301人） H27：49基（165人） H28：35基（131人）</p>
	2-3	浄化槽設置整備	小矢部市	個人設置型の合併浄化槽推進。	H24～H28	<p>個人設置型の合併処理浄化槽の整備を推進した。</p> <p>浄化槽整備状況</p> <p>H24：28基（121人） うち市単6基（31人） H25：35基（160人） うち市単4基（16人） H26：35基（150人） うち市単7基（34人） H27：34基（133人） うち市単5基（19人） H28：26基（109人） うち市単5基（15人）</p>
	3	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備	氷見市	汚泥の資源化。	H28～H29 ※H29：第3次計画で実施	<p>平成29年度に氷見市クリーンセンターの設備改修を実施し、汚泥の資源化を図っている。</p>

	4	マテリアルリサイクル推進施設	小矢部市	廃プラスチック類及び剪定枝の資源化。	H27～28	<p>廃プラスチック類及び剪定枝の資源化を推進するため、ストックヤードを3棟整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 2棟（延べ103.95㎡）整備（廃プラスチック類） ・平成28年度 1棟（延べ38.43㎡）整備（剪定枝）
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	3の計画支援	氷見市	施設整備計画書及び発注仕様書作成。	H27	実施済。
	32	4の計画支援	小矢部市	実施設計。	H27	廃プラスチック類及び剪定枝の資源化を推進するため、ストックヤード整備（3棟）の実実施設計を行った。
	33	旧高岡市環境クリーン工場解体及び新高岡ストックヤード整備事業に係る実施設計等事業	高岡市	旧高岡市環境クリーン工場の解体に係る事前調査、計画策定、同工場の解体及び新高岡ストックヤード整備の実実施設計（平成29年度以降、旧高岡市環境クリーン工場の解体及びその跡地でのストックヤード整備を実施予定）。	H28	<p>平成28年度 旧環境クリーン工場解体及び新高岡ストックヤード整備に係る計画設計業務委託</p>
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	構成市		H24～H28	<p>【高岡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会等からの依頼に応じ、ごみの出し方・リサイクルに関する出前講座を実施 ・とやま環境フェアへの出展（偶数年（高岡で開催の年）のみ） <p>【氷見市】 氷見市リサイクルプラザにて、再生</p>

						<p>利用品の需要拡大を図っている。</p> <p>【小矢部市】 市庁舎等においてコピー用紙等の再生品を率先して利用した。</p>
42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	構成市	特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して普及啓発を行う。	H24～H28	<p>【氷見市】 特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して普及啓発を行っている。</p> <p>【小矢部市】 特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、環境保健衛生協議会と連携して普及啓発を行った。</p>	
43	不法投棄対策	構成市	看板の設置やパトロール・市民への呼びかけなどを行いながら、新たな対策を取り込めるように体制を整備する。	H24～H28	<p>【高岡市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な監視パトロールの実施 ・不法投棄されやすい場所（河川敷や林道、幹線道路沿い等）に警告用看板を設置 ・監視カメラ設置を希望する自治会等に対し、県から貸与された監視カメラの貸出しを実施 <p>【氷見市】 看板の設置やパトロール・市民への呼びかけ、監視カメラの設置等、不法投棄対策を実施している。</p> <p>【小矢部市】 不法投棄対策として、看板の設置やパトロールの実施、また、市の広報誌による市民への呼びかけを行った。</p>	

	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	構成市	災害時に発生する廃棄物について、県及び近隣自治体と連携を図る。	H24～H28	<p>【高岡市】 高岡市災害廃棄物処理計画（平成20年2月）に基づき、県、近隣自治体との協力支援体制を整備、氷見市・射水市・小矢部市・砺波市と相互応援協定を締結している。</p> <p>【氷見市】 平成30年2月、「氷見市災害廃棄物処理計画」を作成し、県及び近隣自治体との支援体制等について制定している。</p> <p>【小矢部市】 災害時における廃棄物の収集運搬、処理・処分を迅速に行えるよう災害廃棄物処理計画を策定した。</p>
--	----	-----------------	-----	---------------------------------	---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 目標の達成状況に関する評価

高岡地区広域圏を構成する高岡市、氷見市及び小矢部市では、循環型社会の形成に寄与すべく様々な施策を展開してきた。この結果、数値目標については、排出量、再生利用量においては未達成であるものの、他の項目においては概ね達成できたと評価している。

今後は、高岡地域 循環型社会形成推進地域計画（第3次）の施策に積極的に取り組み、より一層のごみの減量化・リサイクル等の推進に努める予定である。

数値目標の達成状況については以下のとおり。

■排出量

【事業系】

1 事業所当たりの排出量は目標値を達成している。

一方、総排出量は、公共施設搬入分のみを集計したH29実績値（29,768 t）は平成22年度実績値に比べ減少しているものの、平成29年度目標値には達していない。また、民間リサイクル業者による事業系資源化量も含めたH29実績値（34,582 t）についても、目標値には達していない。

要因としては、景気回復による事業量や開発行為の増加が考えられる。

【家庭系】

平成29年度実績は、平成22年度実績に比べ減少しており、排出量削減が進んでいるものの、平成29年度目標値には達していない。

要因としては、人口が減少している一方で世帯数が増加しており、世帯人数の減少に伴う1人当たり排出量の増加が考えられる（一般的に、世帯人員が少なくなるほど1人当たりの排出量が増加する。）。

■再生利用量

平成29年度実績は、平成22年度実績に比べ資源化量、割合ともに増加しており、再生利用は着実に進んでいるものの、集団回収量の伸び悩み等により平成29年度目標値には達していない。

■熱回収量

施設の集約化と熱回収の効率化を目的とした高効率ごみ発電施設（高岡広域エコ・クリーンセンター）が平成26年10月に本格稼働を開始した。当施設における年間の熱回収量（年間の発電電力量）は、平成29年度実績が平成29年度目標値を3.9%上回っており、目標を達成している。

■減量化量

平成29年度実績は、減量化量、排出量に対する割合ともに平成29年度目標値を上回っており、目標を達成している。

■最終処分量

平成 29 年度実績は、平成 29 年度目標値に達していないが、排出量に対する割合では目標値と同程度であり、概ね目標を達成している。

■生活排水処理

人口減少の中、公共下水道による処理人口比率は、高岡市及び小矢部市においては平成 29 年度目標を達成しており、氷見市においても目標と同程度となっている。また、総人口に占める未処理人口の割合は、構成市いずれにおいても平成 29 年度目標を達成していることから、生活排水処理全体として目標は達成している。

(都道府県知事の所見)

(1) ごみ処理

ごみの熱回収量及び減量化量は目標を達成するとともに、最終処分量は目標値と同程度で確実に減少していることから、地域計画に基づく施策の効果があったものと考えられる。

一方、発生抑制や再生利用の促進を進めているものの、排出量及び再生利用量は目標未達成となっていることから、排出抑制、再生使用及び再生利用の対策強化が必要と考えられる。

(2) 生活排水処理

全ての構成市において、汚水衛生未処理人口が大幅に減少し目標を達成していることから、地域計画に基づく施策の効果があったものと考えられる。